



くりみっ子

令和4年 5月11日 <第2号>

東近江市立能登川北小学校

<http://www2.higashiomi.ed.jp/notkitasho/>

文責 校長 北村 定治

学校教育目標 共に高まり合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成

これからの時代をたくましく生きる子どもを育てます!

今年度から、コミュニティスクールに移行した本校では、地域のいろいろな立場の方々（学校運営協議会）の話し合いを経て、学校運営の方向を決定しました。

これからの変動的で不確実で複雑であいまいな世の中を生き抜くためには、教師主導型の指導では限界があり、子どもたち自らが問題を発見し自分なりに解決していける子どもを育てていく必要があります。上記にあげた学校教育目標を目指して、下に示した具体的な子どもの姿をイメージしながら、教育活動を展開していきたいと考えています。地域や家庭のみなさんと共に歩む能登川北小学校にしていきたいと思います。

進んで学び、よく考える子 心優しく、助け合う子 ねばり強く、またえる子

学ぶ力を高める

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり
- 基礎基本の定着とそれらを活用する力の育成
- 自主学習を中心とした家庭学習の習慣化
- 個に応じたきめ細やかな学習指導の充実
- ICTの積極的な活用

豊かな人間性の涵養

- 非認知能力を培う、学級活動・全校活動の充実
- 豊かな体験、人とのかわりを重視した活動の推進
- 自他の命、人権を大切にする教育の推進
- 道徳の時間の充実と道徳的実践力の育成
- 感性を豊かにする読書習慣の確立
- 社会奉仕の精神を育てる福祉活動の推進
- 美しい学校環境づくり

健やかな心身の育成

- 外遊びの奨励と体力の向上をめざす教育の推進
- 安全意識を高める危機管理能力の育成
- 子どもの心に寄り添う教育相談の充実
- 健康づくりの基礎となる食育の推進
- 成就感、達成感を得る体験活動の重視
- あいさつへの取組を通じた豊かな人間関係づくりの推進

信頼される学校づくり…「地域とともに歩む学校」

- 保護者と教職員が気軽に相談し合える風通しのよい関係づくり
- 地域学校協働活動の推進
- 各種便り等広報活動の工夫と充実
- 危機管理体制の充実と推進
- PTA活動と連携した活動の推進
- 地域の声を生かす学校評価の工夫

合言葉 「くりみっ子」

- 「く」 苦勞しよう 汗を流そう 学校づくりに
- 「り」 立派にあいさつ 明るい笑顔
- 「み」 みんなで築こう 北小の伝統
- 「の」 伸ばそう学力 つけよう体力
- 「こ」 根氣が一番 北小の子ども



令和4年度の入学式を行いました

4月11日（月）に、今年度の入学式を行いました。感染対策をしながら全校を入れての入学式を行うことができました。コロナ禍ということで、歌を歌う場面はありませんでしたが、2年生の歓迎の言葉が、新入生や保護者の方々にも伝わったと思います。少人数でありながらも、とても温かい心のこもった式となりました。改めて12名の新入児のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。



くりみっ子運動発表会について

今年度も、学習発表の場ということで「くりみっ子運動発表会」として実施します。この運動発表会の練習や実施にあたっては、子どもたちの健康と安全を第一に考え実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。今回の運動発表会でのねらいは次の3つです。

- ① 体育科学習の成果を発表する機会を設け、児童の運動への意欲と関心を高める。
（普段の体育学習の徒走、リレー、表現運動の取組の成果を発表します。）
- ② 各競技への取組、たてわり活動を通して児童の自主的な態度と責任感を育てる。
（自主的な態度とあきらめずに最後までやりとげる責任感を育てます。）
- ③ 運動を通じて保護者や地域の人々に学校の活動についての理解を深めてもらう。
（保護者や地域の方々に、学校教育についての理解を得る機会とします。）

〇くりみっ子運動発表会は、5月28日（土）に実施します。（雨天順延）

授業時間の1校時から4校時（8：45～12：20）を使って行う予定です。

〇暑さ対策として、運動場に休憩用テントを設置し、日陰での休憩を挟んで練習を行います。また、こまめに水分補給を行いますので、お茶を多めに持参させてください。

〇子どもたちが、「早寝・早起き・朝ごはん」を励行し、よい体調で練習や本番を迎えられますようお子様の体調管理をよろしくをお願いします。

子どもたちを自治的な集団にするために

本校では、子どもたちが自ら考え行動する力をつけるために、5、6年生が集まり本校の学校の進む方向を決めるリーダー会議を行っています。本校のよいところや直すところなどの現状分析を行い、学校の目指す方向について意見をまとめたことを各グループごとに発表していききました。出てきた内容は、心のメリハリ（授業と休み時間）、困っている人を含めて協力すること（今でもできているがもっとできるようにしたい）、ルールを守ること、自分から挨拶をするということ、仲良くすること、笑顔で過ごすこと、コロナ対策、そして楽しく過ごすこと（遊びでも授業でも）などでした。どの意見も子どもたちが考えた前向きな意見ばかりでした。ここで注目したのが、一人の6年生が発言した「楽しさには違いがある」ということでした。「遊びの楽しさと勉強の楽しさは違う」というのです。わたしたち教職員は「ハッ」としました。子どもたちが楽しさの質についてふれていたところです。「学校が楽しい」と思えるためには本当の「楽しさ」についてしっかり考える必要があります。それを、子どもたちが考えだしているという点に、驚きと共にこの学校が本当に良い学校になる素地があると感じました。わたしたち教職員は、そうした子どもたちを全力でサポートしていきたいと思っています。



交通安全教室を行いました

4月22日（金）に、交通安全教室を行いました。福堂駐在所の川上警部補をはじめ、東江市交通安全係の方々の協力のもと、1、2年生では横断歩道の渡り方や路側帯の歩行の仕方、3～5年生は自転車の交通安全について、6年生は自転車のシミュレータを使った安全な走行の仕方を学びました。どの学年も熱心に話を聞いて学んでいました。自分たちでルールを守って交通安全に気をつけて生活できるようにして欲しいと思います。ぜひ、ご家庭でも子どもたちへの安全に対する声かけや見守りをよろしくお願いします。



コラム「非認知能力を育てる」

非認知能力を育てる ～なぜ非認知能力が大切なのか～

学校では、子どもを成長させる大切な力として「非認知能力」があります。「非認知能力」とは、「テストの結果」や「IQ（知能指数）」などの数値化できる能力ではない、『総合的な人間力』のことです。もっとくだけた言葉にするなら、「くじけない心」「想像する力」「コミュニケーション力」「問題を見つけ、解決する力」「行動する力」「やりぬく力」「我慢する力」など実際の生活の中でこそ身につけていける「生きる力」のことです。そうした「非認知能力」の育て方について考えてみたいと思います。「非認知能力」が注目されるようになったきっかけは、2000年にノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授の幼児教育の研究でした。この研究は、就学前の幼児教育を行った子どもと何もなかった子どもを比べたところ、高校卒業率や平均所得、生活保護受給率、犯罪率に大きな差が現れたというものです。幼少期の教育が学力以外にも好影響をもたらし、人生を良い方向へ導いていくことを示しているのです。でも、さらに重要なのはこの先です。研究の結果、乳幼児期などの早期教育では、学習面を強化しても、IQの数値を短期間高めるだけで、長期的に高めることにはつながらないことが分かりました。就学前教育を受けた子どもたちが最も伸ばしたのは、学習意欲をはじめ、誘惑に勝つ自制心や、難解な課題にぶつかったときの粘り強さなどの「非認知能力」だったのです。実際の社会生活ではIQよりも、こうした「非認知能力」の方が重要であることを指摘しています。

つまり、幼児期には詰め込み教育などで学力を伸ばすより、「非認知能力」の基礎を身につけて、魅力的な人間性の土台を築くほうが重要だということなのです。

本校では、その「非認知能力」に目を向け、様々な活動を意図的に仕組んでいます。様々な研究の結果、「非認知能力」が最も伸びるのは10歳（小学校4年生）までであることも分かっています。これを伸ばすことによって、学力向上だけでなく、クラスの雰囲気もよくなり、子どもたちの精神状態も安定し、いじめが減ることも数々の研究で実証されています。さらに、子どもの学習意欲や社会への参加意識が高まるなど、さまざまな効果があることも明らかになっています。「非認知能力」が伸びていけば、学力も伸びるのは当然の流れです。

また、社会での人物評価の基準も変わってきています。昔は学歴やテストの点数などの処理能力の高さが最優先でした。しかし、アメリカでは1990年代より個人をテストの点数という視点のみでなく経済的バックグラウンド、特技、社会貢献、その他のあらゆる経験などありとあらゆる角度から評価する「ホリスティックアプローチ」が多くの大学や企業で導入されるようになりました。おそらくこの流れは日本でも主流になっていくことでしょう。



学習参観、PTA総会、学級懇談会、引き渡し訓練

4月29日（金）の昭和の日、本校では保護者の皆さまに来校いただき子どもたちの学習の様子を参観いただきました。PTA総会でも100%の参加を得て、校長より今年度からコミュニティースクールに移行すること、学校経営方針もそのコミュニティースクールの学校運営協議会のメンバーの承認を得て進めること、そして学校から出す宿題についての考え方を伝えました。学校の方針説明や昨年度の事業・決算報告、今年度の事業・予算報告が行われ、議事もスムーズに進行し、PTA活動の承認をしていただきました。その後、学級懇談会で学級の方針説明等を行い、非常変災時に備えた引き渡し訓練を行いました。ご協力いただきありがとうございました。



5月の主な行事予定

1	日	メディアコントロールデー・家読
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	家庭訪問 13:30下校 たてわり出会いの会 標準服移行 ~31日
9	月	家庭訪問 13:30下校
10	火	家庭訪問 13:30下校
11	水	5年生田植え
12	木	検尿1次
13	金	委員会活動⑥ 検尿1次
14	土	PTA除草作業
15	日	PTA除草作業予備日 メディアコントロールデー・家読
19	木	歯科検診
20	金	にこにこ学習 クラブ活動⑥
27	金	運動発表会前日準備 すいすいデー日課 15:10下校
28	土	くりみっ子運動発表会 12:20下校
29	日	くりみっ子運動発表会予備日
30	月	振替休業日
31	火	プールそうじ

☆都合により変更になる場合があります。

6月の主な行事予定

1	水	メディアコントロールデー・家読 バス下校
2	木	プールそうじ予備日 検尿2次
3	金	検尿2次
6	月	3、4年ホールの子（びわ湖ホール、 県危機管理センター）
7	火	プール開き
8	水	5年フローティングスクール
9	金	委員会活動⑥
10	金	5校時終了後下校 15:00
11	土	PTA資源回収
12	日	PTA資源回収予備日
14	火	3年市内巡り 民生児童委員登下校見守り ~17日
15	水	校区メディアコントロールデー・家読
17	金	クラブ活動⑥ にこにこ学習 教育相談日
21	火	4年社会見学クリーンわたむきAM
22	水	校区研のため給食終了後下校 13:15
23	木	自由参観日①~② たてわり遊び
24	金	クラブ活動⑥ 教師読み語り
27	月	諸費用振替日
29	水	なかよし交流会AM
30	木	ハッピーソング集会